

基本計画					予算科目				実施計画整理番号	
基本政策	テーマ	施策	展開	事業名	款	項	目	事	事業名	501010303
4	1	1	1	防災重点ため池ハザードマップ作成事業	5	1	5	4	農村地域防災減災事業	総合戦略整理番号

事務事業の概要									
事業目標【だれ・何】を【どういう状態】にするか					活動内容(目標を達成するため何を行うか)				
地域住民の暮らしの安全の確保を図り、災害に強い農村づくりを実施する。					災害の未然防止を図るために調査及びハザードマップの作成を実施。				
活動指標			ため池の調査箇所		成果指標		ハザードマップ作成箇所数		
対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人・世帯		<input type="checkbox"/> 団体(民間)		<input type="checkbox"/> 団体(公共)		<input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> その他 ()
内容	①		②		③				
形態	<input type="checkbox"/> 全部委託		<input type="checkbox"/> 一部委託		<input checked="" type="checkbox"/> 直営		<input type="checkbox"/> 負担金・交付金		<input type="checkbox"/> その他 ()
内容	①		②		③				
態様	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 任意	実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	法令 計画等 名称			
① 農業農村整備事業管理計画 ② ③									

事務事業を構成する個別取組				
No.	内容	実施年度		
		R3	R4	R5
①	農村地域防災減災事業(ハザードマップ作成)	○	○	○
②				
③				
④				
⑤				
⑥				
⑦				
⑧				
⑨				
⑩				

個別取組に係る費用で積算の基礎となるもの及びその数値					
No.	内 容	数 値	No.	内 容	数 値
1			6		
2			7		
3			8		
4			9		
5			10		

区分	単位	R3年度		R4年度		R5年度	
		要求額	計画額	要求額	計画額	要求額	計画額
事業費	千円	12,000		9,000		9,000	
財源内訳	国補助	千円		4,500		4,500	
	県補助	千円					
	市債	千円					
	その他	千円					
	一般財源	千円	12,000	0	4,500	0	4,500

特定財源の名称と補助率等	
--------------	--

No.	個別取組の内容	R3 事業費	費用の節別内訳			説明及び積算等の基礎
			節	金額	内容	
①	農村地域防災減災事業(ハザードマップ作成)	12,000	12	12,000	防災重点ため池調査業務委託	ハザードマップ等検討
②						
③						
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
事業費計		12,000				

No.	個別取組の内容	R4 事業費	費用の節別内訳		説明及び積算等の基礎
			節	金額	
①	農村地域防災減災事業(ハザードマップ作成)	9,000	12	9,000	ハザードマップ作成業務委託 3,000千円×3箇所
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		9,000			

No.	個別取組の内容	R5 事業費	費用の節別内訳		説明及び積算等の基礎
			節	金額	
①	農村地域防災減災事業(ハザードマップ作成)	9,000	12	9,000	ハザードマップ作成業務委託 3,000千円×3箇所
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		9,000			

項目別評価	1. 実施主体・目的の妥当性		・自治体が関与すべき事業か。民間で実施できないか。 ・総合計画における目的に合致するか。課題解決に結びつくのか。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. 妥当である B. 改善する余地がある C. 妥当ではない	ハザードマップを作成し、地域住民の暮らしの安全の確保を図り、災害に強いまちづくりに市が関与することは妥当である。
	2. 事業の有効性		・意図した成果は確実に得られるか。 ・類似の目的を持つ事業はないか。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	B	A. 有効である B. 改善の余地がある C. 有効ではない	ハザードマップを作成することにより、二次被害の防止に有効であるが、ため池の多くは施設の老朽化が著しいことから、抜本的には改修が必要であり、多額の費用がかかる。
	3. 事業の効率性		・成果を維持したまま費用を削減する余地はあるのか。 ・将来的なコストの増加・増大の要因はあるか。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. 効率的である B. 改善の余地がある C. 効率的ではない	被害が発生する可能性のある箇所へ対策がとられ、緊急時に正しい判断にて避難が行え、市民の生命及び財産を保護できるため、効率的である。
	4. 緊急性		・今実施しなければならない理由。 ・実施しない場合の問題点。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. すぐに実施する必要有 B. 2~3年後に実施する必要有 C. すぐに実施する必要はない	平成30年7月の西日本豪雨では、多くの農業用ため池が決壊し、下流域に甚大な被害を与えており、市内のため池も老朽化が著しいことから今後の災害に備え早急に実施する必要がある。
5. 市民要望・公平性		・どういう市民要望があるのか。 ・受益者負担は適正か。 ・公平性の点から受益の偏り(特定の地域や個人等)はないか。	
評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)	
A	A. 多くの市民要望有 B. 一部地域・団体等の要望有 C. 要望はない	新たな選定基準により選定された「防災重点ため池」について、国でハザードマップの作成を推進しており、県からも強い要請がある。	
6. 同規模他市・周辺市町村の状況		・ほとんどの自治体で実施、同規模以上の自治体は実施、ほとんど実施していないが先進的な取り組みであるなど、具体的に記述	
一宮町、睦沢町は今年度中に作成する予定である。長南町、長柄町については令和3年度以降に作成する予定。また、大網白里市、いすみ市、南房総市については既にホームページに掲載されている。			

総合評価	■実施計画における位置づけ、財政状況による実現性		
	評価		◎評価理由
		A. 実施 B. 一部実施 C. 実施しない	
	■政策調整会議による評価		
	評価		◎評価理由
	C	A. 掲載 B. 一部掲載 C. 掲載しない	洪水ハザードマップとは別のものとして、ため池ごとにマップを作成することは非効率的であるため、掲載しないものとする。
■庁議による方針			
評価		具体的な方向性	
C	A. 実施 B. 一部実施 C. 実施しない	3か年実施計画に掲載しないものとする。	